




Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0
用 Dell Smart Plug-in バージョン 3.0
インストールガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2012 Dell Inc.

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boom™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、Virtual SMP®、vMotion®、vCenter® および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

2012 - 11


Rev. A00

目次

メモ、注意、警告.....	2
概要.....	4
作業を開始する前に.....	5
管理サーバーのソフトウェア要件.....	5
管理下システムのソフトウェア要件.....	5
対応ファームウェアバージョン.....	6
WinRM のユーザー認証の設定.....	7
Dell SPI のインストール.....	8
Dell SPI のインストールの確認.....	8
次に行う手順.....	12
Dell SPI 設定ユーティリティの使用.....	13
Dell Connections License Manager パラメータの設定.....	14
Dell Connections License Manager URL の設定.....	14
Modular Disk (MD) Storage Manager コンソールの設定.....	15
OpenManage Power Center (OMPC) ツールの設定.....	15
Configuring OpenManage Essentials (OME) Tool.....	16
自動グループ化ポリシー用スケジュールの設定.....	16
Connections License Manager ドメイングループの作成.....	17
Dell デバイスの削除.....	18
インストーラの変更オプションの使用.....	19
Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の変更.....	19
インストーラの修復オプションの使用.....	20
プログラム機能の修復.....	20
Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI プログラム機能の修復.....	20
Dell SPI バージョン 2.0 および 2.1 からのアップグレード.....	21
Dell SPI のアップグレード.....	21
Dell SPI のアンインストール.....	22
Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の削除.....	22
インストーラを使用した Dell SPI の削除.....	22
Dell SPI のアンインストールの確認.....	23
関連文書.....	24

概要

本ガイドでは、Microsoft Windows 向け Hewlett Packard Operations Manager (HPOM) 9.0 用の Dell Smart Plug-in (SPI) バージョン 3.0 のインストール、およびアンインストールためのソフトウェア前提条件と要件に関する情報を提供します。

 **メモ:** このプラグインは 64 ビットのシステムに適応します。

Dell SPI インストーラ (**Dell Smart Plug-in v3.0_x64.msi**)、インストールガイド、および Readme ファイルは自己解凍式実行ファイルである **Dell Smart Plug-in v3.0_Axx.exe** ファイルにパッケージされています。この実行ファイルは、support.dell.com からダウンロードできます。

Dell SPI の readme ファイルをお読みください。これには、既知の問題に関する情報のほか、ソフトウェアおよび管理サーバー要件に関する最新情報が掲載されています。readme ファイルは、support.dell.com/manuals のシステム管理マニュアルのページにも掲載されています。

作業を開始する前に

Dell Smart Plug-in をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- Dell SPI は HPOM 管理サーバーにのみインストール
- HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーにおけるシステム管理者および **HP_OVE_ADMIN** 権限
- Dell ESXi システムを監視するための WinRM 権限
- .NET Framework 3.5

管理サーバーのソフトウェア要件

以下の表は管理サーバーのソフトウェア要件を示しています。

表 1. 管理サーバーのソフトウェア要件

要件	説明
最新パッチを含む Windows 向け HPOM 9.0	HPOM のインストールの詳細に関しては、HP サポートサイトの『 HP Operations Manager 9.0 インストールガイド 』を参照してください。
SNMPv2 でのトラップインタセプタ	Dell EqualLogic デバイスを監視する場合、SNMPv2 トラップを取得するように HPOM トラップインタセプタを設定します。詳細については、HP Operations Manager オンラインヘルプの「 SNMP 条件の設定 」の項を参照してください。
SNMP サービス	SNMP をインストールし有効化します。詳細については、「 関連マニュアル 」を参照してください。
WinRM 2.0 サービス	Install and configure WinRM version 2.0 以降をインストールおよび設定して、監視している Dell ESXi システムとの通信を確立します。詳細については、「 WinRM のユーザー認証の設定 」を参照してください。
Dell Connections License Manager	ライセンスサーバーをインストールし、設定します。詳細に関しては、 support.dell.com/manuals で『 <i>Dell Connections License Manager Installation Guide</i> 』（Dell Connections License Manager インストールガイド）を参照して下さい。

管理下システムのソフトウェア要件

以下の表は管理下システムの要件を示しています。



メモ: DNS がすべての管理下システム用に正しく設定されていることを確認してください。

表 2. 管理下システムのソフトウェア要件

要件	説明
オペレーティングシステム	サポートされる Microsoft Windows または Linux OS、あるいはサポートされる ESXi バージョンをインストールします。サポートされるオペレーティングシステムに関する詳細については、「 関連文書 」を参照してください。
SNMP サービス	SNMP サービスをインストールして有効化し、管理サーバーが管理下ノードと確実に通信できるようにします。詳細については、「 関連文書 」および「 次に行う手順 」を参照してください。
SNMP エージェント	コミュニティ名を変更し、 Get 操作を有効にして、HPOM 管理サーバーにトラップを送信するため、SNMP エージェントを設定します。 SNMP サービストラップの宛先を設定して、管理サーバーでトラップを受信するようにします。 Windows および Linux システムでの SNMP エージェントの設定についての詳細は、「 関連文書 」を参照してください。
Server Administrator	サポートされている Server Administrator のバージョンは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Windows システム — バージョン 6.2～7.1 • ESXi および Linux システム — バージョン 6.2～7.1 ESXi 上に Server Administrator をインストールし、OEM CIM プロバイダを有効にして、管理サーバーがシステムと確実に通信できるようにします。 Windows、ESXi、および Linux システムのための SNMP の設定、または OEM CIM プロバイダの有効化についての詳細は、「 関連文書 」を参照してください。

対応ファームウェアバージョン

以下の表は、DRAC、iDRAC、CMC、DRAC/MC、EqualLogic、および MD ストレージアレイデバイス向けの対応ファームウェアバージョンを示します。

表 3. DRAC、CMC、EqualLogic および MD ストレージアレイデバイスの対応ファームウェアバージョン


Dell デバイス	対応ファームウェアバージョン
iDRAC6 11G モノリシック	1.8 および 1.9
iDRAC6 11G モジュラー	3.3 および 3.4
iDRAC7	1.10.10 および 1.20.20
DRAC 5	1.5 および 1.6
CMC	4.0 および 4.1
DRAC/MC	1.5 および 1.6
EqualLogic	5.2.1 および 5.2.2
MD ストレージアレイ	7.35 (MD3000)、7.75、および 7.80 (Hogs 2.0 を含むその他すべて)

WinRM のユーザー認証の設定

WinRM に関するユーザー認証を設定するには、次の手順を実行します。

1. お使いのシステムの **Windows** メニューで、**スタート** → **ファイル名を指定して実行** とクリックします。
2. `winrm configsdcl default` と入力し、**OK** をクリックします。
3. **追加** をクリックし、必要なローカルまたはドメインのユーザー、もしくはグループをリストに追加します。
4. 各ユーザーに適切な許可を与え、**OK** をクリックします。

Dell SPI のインストール

 **メモ:** Dell SPI をインストールする前に、HPOM コンソールを閉じる必要があります。

HPOM 管理サーバーに Dell SPI をインストールするには次の手順を実行します。

1. デルサポートサイト support.dell.com から Dell SPI インストーラをダウンロードしてください。
2. **Dell Smart Plug-in v3.0_Axx.exe** の内容を管理サーバに抽出します。
3. **Dell Smart Plug-in v3.0_x64.msi** を実行します。
4. ようこそ画面で、**次へ** をクリックします。
5. **ライセンス契約に同意する** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
6. カスタム画面で以下のオプションのいずれか、または両方を選択します。
 - Dell サーバー、DRAC、Chassis を監視する
 - Dell ストレージを監視する
7. **Next (次へ)** をクリックします。
8. インストールの際にポリシーファイルを自動的に展開する場合は、**はい** を選択します。管理サーバーに手動で展開する場合は **いいえ** を選択します。
概要画面では、Dell SPI のインストール場所、展開されたポリシーファイル、および Dell SPI によってインストールされたツールについての情報が表示されます。
9. **インストール** をクリックします。
10. **終了** をクリックします。

Dell SPI のインストールの確認

Dell SPI のインストールを確認するには、次の手順を実行します。

1. HPOM コンソールを起動し、以下の階層が作成されたことを確認します。
 - サービス階層
 - * Dell ハードウェア
 - a. Dell シャーシ
 - 1. CMC
 - 2. DRAC/MC
 - b. Dell DRAC
 - 1. DRAC5
 - 2. iDRAC6 モジュール
 - 3. iDRAC6 モノリシック
 - 4. iDRAC7 モジュール
 - 5. iDRAC7 モノリシック
 - c. Dell サーバー
 - 1. ESXi サーバー
 - 2. Linux サーバー
 - 3. Windows サーバー
 - d. Dell ストレージ

1. EqualLogic PS-Series アレイ
2. PowerVault MD ストレージアレイ

- ノード階層

* Dell 管理下システム

a. Dell シャーシ

1. CMC
2. DRAC/MC

b. Dell DRAC

1. DRAC5
2. iDRAC6 モジュール
3. iDRAC6 モノリシック
4. iDRAC7 モジュール
5. iDRAC7 モノリシック

c. Dell サーバー

1. モジュールサーバー
2. モノリシックサーバー

d. Dell ストレージ

1. EqualLogic PS-Series アレイ
2. PowerVault MD ストレージアレイ

e. Dell の無応答デバイス

2. ポリシー管理 → ポリシーグループ → Dell デバイス用 SPI と移動します。

a) Dell デバイス用 SPI に次のポリシーが存在することを確認します。

- * Dell Connections License Manager のスケジュール済み状態ポーリング
- * Dell サーバー
- * Dell ストレージ
- * Dell ハードウェア自動グループポリシー

b) Dell デバイス用 SPI → Dell サーバー に次のポリシーが存在することを確認します。

- * Dell DRAC およびシャーシのスケジュール済み状態ポーリング
- * Dell DRAC およびシャーシトラップ (マニュアル Ack)
- * Dell OOB サーバートラップ (マニュアル Ack)
- * Dell サーバーのスケジュール済み状態ポーリング
- * Dell サーバートラップ
- * Dell サーバートラップ (マニュアル Ack)

c) Dell デバイス用 SPI → Dell ストレージ に次のポリシーが存在することを確認します。

- * Dell EqualLogic アレイのスケジュール済み状態ポーリング
- * Dell EqualLogic トラップ
- * Dell EqualLogic トラップ (マニュアル Ack)
- * Dell MD ストレージアレイのスケジュール済み状態ポーリング

3. 自動展開ポリシーがポリシーインベントリ内にあることを確認します。

ノードの下で、管理サーバーに右クリックします。表示 → ポリシーインベントリ を選択して、以下のポリシーを表示します。

- Dell DRAC およびシャーシのスケジュール済み状態ポーリング
 - Dell DRAC およびシャーシトラップ (マニュアル Ack)
 - Dell EqualLogic アレイのスケジュール済み状態ポーリング
 - Dell EqualLogic トラップ
 - Dell ハードウェア自動グループポリシー
 - Dell MD ストレージアレイのスケジュール済み状態ポーリング
 - Dell OOB サーバートラップ (マニュアル Ack)
 - Dell サーバーのスケジュール済み状態ポーリング
 - Dell サーバートラップ
 - Dell Connections License Manager のスケジュール済み状態ポーリング
4. 以下のツールが、**ツール** 下にあるそれぞれの該当するフォルダに表示されていることを確認します。
- a) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** に表示されます。
- * Dell シャーシ
 - * Dell DRAC
 - * Dell サーバー
 - * Dell SPI ライセンス
 - * Dell ストレージ
 - * OpenManage Essentials コンソール
 - * OpenManage Power Center コンソール
 - * 保証レポート
- b) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell シャーシ** に表示されます。
- * CMC コンソール
 - * DRAC/MC コンソール
- c) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell DRAC** に表示されます。
- * DRAC コンソール
 - * OpenManage Server Administrator コンソール
- d) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell サーバー** に表示されます。
- * Dell Remote Access Controller コンソール (帯域内)
 - * OpenManage Server Administrator コンソール
 - * Dell OpenManage Server Administrator Web Server コンソール
- e) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell SPI ライセンス** に表示されます。
- * Dell Connections License Manager コンソール起動ツール
- f) 以下のツールは、**ツール** → **Dell ツール** → **Dell ストレージ** に表示されます。
- * EqualLogic PS-Series アレイ
 - EqualLogic Group Manager コンソール
 - * PowerVault MD ストレージアレイ
 - MD Storage Manager コンソール
5. Dell SPI Config ユーティリティがデフォルト、またはカスタムディレクトリにインストールされていることを確認します。デフォルトの場所は次のとおりです。
C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HPA
 手順のいずれかに失敗した場合、前提条件をチェックして再試行してください。インストーラの **変更**、**修復**、および **削除** のオプションを使うには、以下を参照してください。


- [インストーラの変更オプションの使用](#)
- [インストーラの修復オプションの使用](#)
- [インストーラを使用した **Dell SPI** の削除](#)

次に行う手順

Dell SPI のインストール完了後、Dell Windows、Linux サーバー、Dell DRAC、Dell シャーシ、EQL デバイス 用の SNMP パラメータ、OOB 監視用の DCLM パラメータ、および ESXi システム用の WSMAN パラメータを設定し、管理サーバーと Dell システムとの間の通信が正しく確立されることを確認します。通信パラメータを設定するには、Dell SPI の一部である **DellSPICongfigUtility.exe** を実行します。

次を設定することができます。


- SNMP のタイムアウトと再試行
- Server Administrator Web Server コンソール
- 保証レポート URL
- DCLM パラメータ：
 - Webservice URL
 - ユーザー名
 - パスワード
- WSMAN 接続パラメータ：
 - ユーザー名
 - パスワード
 - タイムアウト
 - 認証機関チェック、共通名チェック、および失効チェックを含むセキュリティオプション

 **メモ:** 保証レポート URL、DCLM Webservice URL および Server Administrator Web Server コンソール URL を環境に応じて構成できます。

以下の表では、SNMP、Server Administrator Web Server コンソール URL、WSMAN、DCLM、および保証レポート URL に異なる値を設定するためのコマンドラインオプションがリストされています。

表 4. コマンドラインオプション


オプション	説明
-snmptimeout	ミリ秒単位の SNMP タイムアウトを指定します。デフォルト値は 5000 (5 秒)。100 ミリ秒から 4294967290 ミリ秒までの値を設定します。
-snmpretries	SNMP の再試行数を指定します。デフォルト値は 1 です。
- dwsurl	DWS の URL を指定します。
-dclmwebserviceurl	DCLM の URL を指定します。 例： http://dclmserver.domain.com:8543/
-dclmusername	基本的な認証でのログインのための dclm ユーザー名を指定します。 例： domain\username
-dclmpassword	基本的な認証でのログインのための dclm パスワードを指定します。
-getall	すべてのオプション値を指定して画面に表示します。このオプションは、wsmanusername、

オプション	説明
	wsmanpassword、dclmusername、dclmpasswordを除く個々のパラメータすべてのためにすべての値を取得し、それらを画面に表示します。
-resetdefaults	設定可能なすべての値を、デフォルト値にリセットします。  メモ: このオプションを実行しても、-wsmanusername、-wsmanpassword、dclmusername、およびdclmpasswordオプションの値はリセットされません。
-help	このツールの使用方法についてのヘルプを表示します。
-wsmanusername	ESXi システム上のローカルまたはドメインアカウントのユーザー名を指定します。このプロパティにより、ESXi システムにアクセスするための認証に用いるユーザー名が決定されます。
-wsmanpassword	指定したユーザー名用のパスワードを指定します。
-wsmanocachecheck	証明書を発行した認証局の認証を省略します。値はyesまたはnoのいずれかです。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、認証機関の認証チェックが実行されます。
-wsmancncncheck	共通名 (CN) の認証を省略します。値はyesまたはnoのいずれかです。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、共通名がチェックされます。
-wsmanrevocationcheck	WSMAN 接続がサーバー証明書の失効状態を検証するかどうかを指定します。値はyesまたはnoです。デフォルト値は no です。この値を yes に設定すると、サーバー証明書の失効ステータスのチェックがされます。
-wsmantimeout	ミリ秒単位の WSMAN タイムアウト値を指定します。デフォルト値は 30000 (30 秒) 。500 ミリ秒から 4294967290 ミリ秒までの値を設定します。

Dell SPI 設定ユーティリティの使用


設定ユーティリティを使用するには、次の手順を実行します。

1. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
2. **DellSPIConfigUtility.exe** へ移行します。デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP** です。
3. 次のコマンドを入力します。
DellSPIConfigUtility.exe -<オプション>=<値>。次に **Enter** を押します。
たとえば、WSMAN のタイムアウトを設定する場合は、コマンド DellSPIConfigUtility.exe -wsmantimeout=500 を入力します。

 **メモ:** 無効な値を入力した場合、ユーティリティによりエラーメッセージとヘルプテキストが表示されます。

ESXi システムを監視する場合は、`wsmanusername` および `wsmanpassword` の値を設定する必要があります。また Web サーバーコンソールの値も設定する必要があります。

`wsmanpassword` の値を指定するときは、次のコマンド、`DellSPIConfigUtility.exe -wsmanpassword` を入力し、**Enter** を押します。 `-wsmanpassword` のあとに `=` を指定する必要はありません。初めてパスワードを指定する場合は、パスワードを **2** 回入力します。パスワードを変更する場合、ユーティリティは古いパスワードを入力し、続いて新しいパスワードを **2** 回入力するようにプロンプトを表示します。


 **メモ:** ユーザー名を変更した場合でも、ユーティリティによってパスワードを変更するようプロンプトが表示されます。


`wsmanusername` および `wsmanpassword` 以外の各オプションの値を確認するには、`DellSPIConfigUtility.exe -<オプション>` と入力します。

Dell Connections License Manager パラメータの設定

Dell Connections License Manager (DCLM) のパラメータを設定するには、次の手順を実行します。

1. **Dell Connections License Manager** をインストールします。詳細に関しては、support.dell.com/manuals の『*Dell Connections License Manager Version 1.0 Installation Guide*』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 インストールガイド）を参照してください。
2. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
3. **DellSPIConfigUtility.exe** へ移行します。デフォルトの場所は、**C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection for HP** です。
4. Dell Connections License Manager の Web Service URL を次のコマンドを入力して設定します。
`DellSPIConfigUtility.exe -dclmwebserviceurl=<ライセンスサーバー IP>:<ポート番号>`
例： `DellSPIConfigUtility.exe -dclmwebserviceurl=http://10.56.123.255:8543`
5. Dell Connections License Manager のユーザー名を次のコマンドを入力して設定します。
`DellSPIConfigUtility.exe -dclmusername=<ユーザー名>`
ユーティリティは Dell Connections License Manager のパスワードを入力するようにプロンプトを表示します。
6. パスワードを入力します。
正しいパスワードの入力を確認するために、パスワードを再度入力する必要があります。
パスワードを変更する場合は、古いパスワードを入力してから、新しいパスワードを **2** 回入力するプロンプトが表示されます。

 **メモ:** Dell Connections License Manager のパスワードを設定するコマンドは、`DellSPIConfigUtility.exe -dclmpassword` です。 `-dclmpassword` の後に `=` を指定する必要はありません。

 **メモ:** `dclmusername` を変更すると、ユーティリティが `dclmpassword` を変更するプロンプトを表示します。

Dell Connections License Manager URL の設定

1. ツール → Dell ツール → Dell SPI ライセンス → Dell Connections License Manager コンソール起動ツール を選択します。
2. 右側のパネルで、Dell Connections License Manager コンソール起動ツール を選択して右クリックし、続いてポップアップメニューから プロパティ をクリックします。

Dell Connections License Manager コンソール起動ツールのプロパティ ウィンドウが表示されます。

3. Dell Connections License Manager コンソール起動ツールのプロパティ ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
4. **URL** : (必須) ボックスで、Dell Connections License Manager コンソールの URL パスを入力します。
例 : <http://mylicenseserver.mydomain.com:8544/DellLicenseManagement>
5. **適用** をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

Dell Connections License Manager コンソール起動ツールが HPOM コンソールに設定されました。

Modular Disk (MD) Storage Manager コンソールの設定


1. Modular Disk (MD) Storage Manager クライアントを管理サーバーにインストールします。
2. ツール → Dell ツール → Dell ストレージ → Dell PowerVault MD ストレージアレイ を選択します。
3. 右側のペインで、**MD Storage Manager コンソール** を選択して右クリックし、次に **プロパティ** をポップアップメニューから選択してクリックします。
MD Storage Manager コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。
4. **MD Storage Manager コンソールプロパティ** ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**実行可能** をクリックします。
6. **Modular Disk Storage Manager Client.exe** のパスを取得します。
デフォルトのパスは `C:\Program Files (x86)\Dell\MD Storage Software\MD Storage Manager\client\Modular Disk Storage Manager Client.exe` です。
7. **コマンド** : (必須) ボックスで、**Modular Disk Storage Manager Client.exe** の場所の情報を入力するか、**参照** をクリックして **Modular Disk Storage Manager Client.exe** ファイルをインストールした場所に移動します。
8. **適用** をクリックします。
9. **OK** をクリックします。

MD Storage Manager コンソールが HPOM コンソールに設定されました。

OpenManage Power Center (OMPC) ツールの設定

1. **OpenManage Power Center (OMPC)** をインストールします。詳細については、support.dell.com/manuals にある『Dell OpenManage Power Center バージョン 1.1 ユーザーズガイド』を参照してください。
2. HPOM コンソールで、ツール → Dell ツール を選択します。
3. 右側のペインで、**OpenManage Power Center コンソール** を選択して右クリックし、次に **プロパティ** をポップアップメニューから選択してクリックします。
OpenManage Power Center コンソールプロパティ ウィンドウが表示されます。
4. **OpenManage Power Center コンソールプロパティ** ウィンドウで、**詳細** タブをクリックします。
5. **コマンドタイプ** : (必須) ドロップダウンリストで、**URL を選択** をクリックします。
6. **URL** : (必須) ボックスで、**OMPC コンソール** の URL パスを入力します。

デフォルトの URL パスは <https://localhost:8643/powercenter> です。


 **メモ:** OMPC コンソールは、HPOM サーバーと同じサーバーに OMPC がインストールされている場合にのみ、デフォルトの URL を使って正常に起動されます。OMPC が別のサーバーにインストールされている場合は、該当する OMPC がインストールされた OMPC サーバーの URL を取得し、OMPC URL を設定します。

- 例 : <https://10.94.145.132:8643/powercenter>
- 例 : <https://hpom1w2k8r2.hpdom.com:8643/powercenter>

7. **適用** をクリックします。
8. **OK** をクリックします。
OMPC コンソール が **HPOM コンソール** に設定されました。

Configuring OpenManage Essentials (OME) Tool

1. Install the **OpenManage Essentials (OME)**. For more information, see *Dell OpenManage Essentials Version x.x User's Guide* at support.dell.com/manuals.
2. In the HPOM console, select **Tools** → **Dell Tools**.
3. On the right pane, select **OpenManage Essentials Console** and right-click, and then click **Properties** from the pop-up menu.
The **OpenManage Essentials Console Properties** window is displayed.
4. In the **OpenManage Essentials Console Properties** window, click the **Details** tab.
5. In the **Command Type: (Required)** drop-down list, select **URL**.
6. In the **Command: (Required)** box, enter the URL path of the **OME Console**.
The default URL path is **https://localhost:2607/Web/Default.aspx**

 **メモ:** OME Console will launch successfully using the default URL only if OME is installed on the same HPOM server. If OME is installed on another server then, obtain the URL from the respective OME server where OME is installed, and set the OME URL.

- Example: **https://<IP Address Or Fully Qualified Domain Name>:2607/Web/Default.aspx**
- Example: **https://10.94.149.172:2607/Web/Default.aspx**
- Example: **https://hpom1w2k8r2.hpdom.com:2607/Web/Default.aspx**

7. Click **Apply**.
8. Click **OK**.
The **OME Console** is configured on the HPOM Console.

自動グループ化ポリシー用スケジュールの設定

自動グループ化ポリシー用のスケジュールを設定するには、次の手順を実行します。

1. **ポリシー管理** → **ポリシーグループ** → **Dell Devices 用 SPI** をクリックします。
2. **Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー** を選択します。
3. **すべてのタスク** → **編集** を右クリックして選択します。
Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー [3.0] (スケジュールされたタスク) の画面が表示されます。
4. **スケジュール** タブで、ドロップダウンメニューの **任意** のオプションを選択して、希望のスケジュールを入力します。
5. **保存**、および **閉じる** をクリックします。


 **メモ:** スケジュールを設定した後、管理サーバーに **Dell ハードウェア自動グループ化ポリシー** を展開します。Dell ハードウェア自動グループ化ポリシーの展開に関する詳細については、『**Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in Version 3.0 ユーザーズガイド**』を参照してください。

Connections License Manager ドメイングループの作成

Dell Connections License Manager のインストール中、Windows Server Active Directory 内に次のグループが作成されます。

- Dell Connections License 管理者
- Dell Connections License オペレータ
- Dell Connections License ユーザー

上記のドメイングループがインストール中に自動的に作成されない場合は、グループを手動で作成します。ドメインを作成してドメインにユーザーを追加するには、マイクロソフト (technet.microsoft.com) で Windows のマニュアルを参照してください。


 **メモ:** 必要なドメイングループを作成した後、管理サーバーマシンアカウントを **Dell Connections License ユーザー** グループの一部として追加し、現在のユーザーアカウントを **Dell Connections License 管理者** グループに追加してください。

Dell デバイスの削除

Dell デバイスを HPOM コンソールから削除するには、以下の手順を実行します。

1. Dell デバイスを HPOM コンソールから削除します。Dell デバイスを HPOM コンソールから削除するには、HP Operations Manager オンラインヘルプにある **ノードの維持** 下の **管理下ノードの削除、コピー、移動** の項を参照してください。
2. iDRAC7 デバイスを削除する場合は、以下の手順を実行します。
 - a. 管理サーバーでコマンドプロンプトを起動します。
 - b. **DellSPICongUtility.exe** に移行します。デフォルトの場所は **C:\Program Files\Dell\OpenManagement for HP** です。
 - c. 次のコマンドを入力します。

```
DellSPICongUtility.exe -relinquish=<iDRAC7 デバイスサービスタグ>
```

 **メモ:** iDRAC7 デバイスのサービスタグは、**Dell ハードウェア** サービス階層から取得、または iDRAC7 サーバーから手動で取得できます。

インストーラの変更オプションの使用

Dell SPI インストーラの変更 オプションは、インストールされているプログラムの機能を変更します。このオプションは、各種ポリシーに設定したスケジュールを保持します。プログラム機能を変更するには、以下の手順を実行します。

1. HP Operations Manager (HPOM) コンソール内の管理サーバー上で実行されているすべての Dell SPI ポリシーを無効にします。
2. 解凍先のフォルダから **Dell Smart Plug-In v2.0_x 64.msi** を実行します。
ようこそ 画面が表示されます。
3. **次へ** をクリックします。
インストーラが 3 つのオプションを表示します。
4. **変更** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
カスタム 画面が表示されます。
5. 以前にインストールした機能を変更するために、カスタム画面で **Dell サーバー、DRAC、シャーシの監視**、または **Dell ストレージの監視** を選択します。
変更の準備完了 画面が表示されます。
6. **Install** (インストール) をクリックします。
7. インストールプロセスが完了したら、**終了** をクリックします。

Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の変更


Windows コントロールパネルを使用して Dell SPI プログラム機能を変更するには、以下の手順を実行します。

1. HP Operations Manager (HPOM) コンソール内の管理サーバー上で実行されているすべての Dell SPI ポリシーを無効にします。
2. スタートメニューから、**設定** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムのアンインストール** を選択します。
3. **プログラムのアンインストールまたは変更** で、**Dell Smart Plug-in v3.0** を選択し、**変更** をクリックします。
4. **次へ** をクリックします。
インストーラが 3 つのオプションを表示します。
5. **変更** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
カスタム 画面が表示されます。
6. 以前にインストールした機能を変更するために、カスタム画面で **Dell サーバー、DRAC、シャーシの監視**、または **Dell ストレージの監視** を選択します。
変更の準備完了 画面が表示されます。
7. **インストール** をクリックします。
8. インストールプロセスが完了したら、**終了** をクリックします。

インストーラの修復オプションの使用

Dell デバイス用 SPI ポリシーグループ、または管理サーバーのポリシーインベントリからポリシーを誤って削除した場合、**Dell SPI** インストーラの **修復** オプションを使用してポリシーを再インストールします。

この **修復** オプションは、欠落している **Dell SPI** ポリシーをインストールし、管理サーバー上で自動的にすべてのポリシーを展開します。**修復** オプションをお使いになる前に、**HPOM** コンソールの **HPOM** 管理サーバーノードから、すべての **Dell SPI** ポリシーを削除するか、または展開解除するようにしてください。

 **メモ:** ポリシーのいずれかを修正してからそのポリシーを削除した場合、**修復** オプションは、ポリシーのオリジナルバージョンのみをインストールするので、必要要件に応じてポリシーを再度変更する必要があります。**修復** オプションは、**SNMP**、**WSMAN**、**DWSURL**、**DCLM Webservice URL**、および保証レポート **URL** のパラメータをデフォルト値にリセットするので、これらのパラメータを再度設定する必要があります。

さらに、いずれかのファイルが失われた、または破損している場合、**修復** オプションはこれらのファイルを置き換えます。

プログラム機能の修復

プログラム機能を修復するには、次の手順を行います。

1. 解凍先のフォルダから **Dell Smart Plug-In v2.0_x 64.msi** を実行します。
ようこそ 画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
インストーラが 3 つのオプションを表示します。
3. **修復** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
修復の準備完了 画面が表示されます。
4. **Install** (インストール) をクリックします。
インストールプロセスが完了したら、**終了** をクリックします。

Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI プログラム機能の修復


Windows コントロールパネルを使用して **Dell SPI** プログラム機能を修復するには、次の手順を行います。

1. スタートメニューから、**設定** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムのアンインストール** を選択します。
2. **プログラムのアンインストール** または **変更** で、**Dell Smart Plug-in v3.0** を選択し、**修復** をクリックします。

Dell SPI バージョン 2.0 および 2.1 からのアップグレード


Dell SPI のバージョン 2.0 または 2.1 が管理サーバーにインストールされている場合、それをバージョン 3.0 にアップグレードすることができます。

バージョン 2.0 または 2.1 からアップグレードすると、既存ポリシーもバージョン 3.0 に更新され、既存の Dell グループは自動的にノードやサービスから削除され、再度作成されます。

 **メモ:** アップグレードプロセスでは、ポリシーファイル用のスケジュール設定は維持されません。スケジュールはデフォルト設定にリセットされます。

Dell SPI のアップグレード

1. HPOM コンソール上で、HPOM 管理サーバーのノードからすべての Dell SPI ポリシーを削除、または展開解除します。
2. HPOM コンソールを閉じます。
3. 解凍先のフォルダから **Dell Smart Plug-In v3.0.msi** を実行します。
ようこそ スクリーンが表示されます。Dell SPI の別バージョンがインストールされており、新しいバージョンにアップグレードしたいかどうかをたずねるメッセージも表示されます。
4. はい をクリックしてインストールを続行します。
5. 次に [Dell SPI のインストール](#) の手順 6~8 を実行します。

 **メモ:** アップグレード処理が完了した後、自動グループ分けポリシーが自動的に実行され、Dell デバイスがグループ分けされます。


Dell SPI のアンインストール

Dell SPI は、Windows のコントロールパネルから、または Dell SPI インストーラの **削除** オプションを使ってアンインストールできます。アンインストールすることによって、ファイル、レジストリ、およびスクリプトといった Dell SPI コンポーネントがインストール先システムから削除されます。

Dell SPI をアンインストールする前に、次を確認してください。

- 管理サーバー上で Dell ポリシーが実行されていないこと。
- HPOM コンソール上の HPOM 管理サーバーから、すべての Dell SPI ポリシーが削除または展開解除されていること。
- Dell SPI ディレクトリが閉じていること。

 **注意:** HPOM をアンインストールする前に、Dell SPI をアンインストールしてください。HPOM を先にアンインストールしてから Dell SPI をアンインストールしようとすると、アンインストールプロセスがエラーを伴って失敗する場合があります。

 **メモ:** Dell SPI をアンインストールすると、以下のエラーが表示されます。

- 1つあるいは複数の Dell SPI プロセスが実行中です。
- すべての Dell SPI プロセスを中止して、再試行してください。

この問題を解決するには、ポリシーを無効にするか、ポリシーの実行が完了するまで待ってから、アンインストールを再試行します。

Windows コントロールパネルを使用した Dell SPI の削除

Windows コントロールパネルを使用して Dell SPI を削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートメニューから、**設定** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **プログラムのアンインストール** を選択します。
2. **プログラムのアンインストールまたは変更** で、**Dell Smart Plug-in v3.0** を選択し、**アンインストール** をクリックします。
Dell SPI v3.0 は HPOM 管理サーバーから削除されます。

インストーラを使用した Dell SPI の削除

インストーラを使用して Dell SPI v3.0 を削除するには、次の手順を行います。

1. 自己解凍パッケージ **Dell Smart Plug-in v3.0_Axx.exe** の内容を解凍したフォルダから、**Dell Smart Plug-In v3.0_x 64.msi** を実行します。
Welcome (ようこそ) 画面が表示されます。
2. **次へ** をクリックします。
インストーラが 3つのオプションを表示します。
3. **削除** オプションを選択して **次へ** をクリックします。
プログラムの削除 画面が表示されます。
4. **プログラムの削除** 画面で、**削除** をクリックします。
Dell SPI v3.0 が管理サーバーから削除されます。

Dell SPI のアンインストールの確認

Dell SPI が管理サーバーから完全にアンインストールされたことを確認するには、次の手順を実行します。

1. HPOM コンソールを起動して、**ポリシー管理** → **ポリシーグループ** の **Dell デバイス用 SPI** ポリシーグループが削除されたことを確認します。
2. **ノード** をクリックし、**Dell 管理下システムグループ** が削除されたことを確認します。
3. **サービス** → **システムインフラストラクチャ** とクリックし、すべての Dell デバイスの **Dell ハードウェア** サービス、**Dell SPI ライセンス** サービス、およびサービスツリーが削除されたことを確認します。
4. **ツール** をクリックし、**Dell ツール** フォルダが削除されたことを確認します。
5. Dell SPI インストールディレクトリが、デフォルトまたはカスタムパスから削除されたことを確認します。デフォルトパスは次のとおりです。

C:\Program Files\Dell\OpenManage Connection For HP

6. ポリシーディレクトリが削除されたことを確認します。デフォルトパスは次のとおりです。

C:\Program Files\HP\HP BTO Software\instal\DellSPIPolicy

関連文書

本ガイドに加え、デルサポートサイト support.dell.com/manuals で利用できる次のガイドにアクセスすることができます。マニュアルページで、ソフトウェア → システム管理 をクリックします。右側の該当する製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

たとえば、システム管理ページで Dell SPI に関するマニュアルを表示するには、製品リストから **Dell OpenManage Connections** → **Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in** を選択します。

- *Microsoft Windows 向け HP Operations Manager 9.0 用 Dell Smart Plug-in* バージョン 3.0 ユーザーズガイド
- *Dell OpenManage Server Administrator* ユーザーズガイド
- *Dell OpenManage With VMware ESX/ESXi 4 Systems Management* ガイド
- *Dell Chassis Management Controller User's Guide* (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)
- *Dell Integrated Remote Access Controller User's Guide* (Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド)
- *Dell Remote Access Controller 5 User's Guide* (Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド)
- *Dell Remote Access Controller/ Modular Chassis User's Guide* (Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド)
- *Dell Connections License Manager* バージョン 1.0 ユーザーズガイド
- *Dell OpenManage Power Center* バージョン 1.1 ユーザーズガイド
- *Dell OpenManage Essentials* バージョン x.x ユーザーズガイド